

The 6th TAKEHARA Comprehensive Plan

元気な竹原市の実現

# TAKEHARA

第6次竹原市総合計画

2019-2028



元気と笑顔が織り成す  
暮らし誇らし、竹原市。



# 「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向けて

本格的な人口減少社会が到来する中、本市が持続可能な都市として発展していくためには、本市の強みである「人と人の顔が見えるコミュニティ」を未来への礎として、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組み、賑わいや活力を生み出していくことが重要です。

そのため、この度、私たちが目指すべきまちの姿を明らかにするとともに、その実現のために取り組んでいく施策を掲げた「第6次竹原市総合計画」を策定しました。

市民と行政が本市の目指すべきまちの姿を共有し、それぞれが自身の役割と責任を担いながら、地域課題を一緒に解決することにより、誰もが住みやすさを実感し、誇らしいと思える『元気な竹原市』の実現に向けたまちづくりを進めていきたいと思います。

平成31年(2019)3月

竹原市長 今菜敏歩



## まちづくりの考え方 (まちづくりの基本認識)

### 基本理念

本市では、「誇りと愛着を持てるまち」、「個性的で魅力あるまち」を目指し、急速な少子・高齢化と本格的な人口減少が進行する中でも、持続可能な都市となるよう、

**「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」**

と思える元気な竹原市の実現

を基本理念として、まちづくりに取り組みます。

### 基本的視点

まちづくりを進めるにあたっては、「本市の財産」である多様な人材と誇れる多くの地域資源を最大限に活かして、まちの個性や魅力の創出を図ります。

① 人を活かす

② 地域資源を活かす



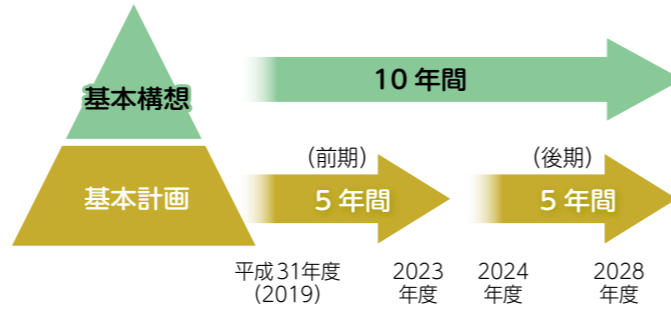
## 総合計画の概要

本市の未来創造に向け、まちづくりの方向を明らかにする指針・最上位計画として、新しい総合計画を策定しました。

—構成—

**基本構想**…本市の目指すべき将来像を示すもの  
(平成31年度(2019)～2028年度(10年間))

**基本計画**…基本構想で示した将来像の実現に向けて、5年間の取組の方向性などを示すもの  
(前期)平成31年度(2019)～2023年度(5年間)  
(後期)2024年度～2028年度(5年間)



## 10年後の目指すまちの姿 (将来都市像)

本市の特色を活かして“住みやすさ”“暮らしやすさ”に磨きをかけ、暮らしの満足度を向上させることにより、基本理念で掲げるまちづくりを展開し、10年後のまちの姿(将来都市像)を次のとおり設定します。

# 元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。

“元気”市民の誰もが「いきいきと活躍する姿」と本市の魅力を活かした「交流や産業による賑わうまち」  
“笑顔”市民の「安全・安心で快適な心地いい暮らし」と「互いに支え合う優しさ」  
あふれる元気で輝く笑顔が“幾重にも重なり”，市民一人一人が“たけはら暮らし”が“誇らしい”と思う。  
本市は、「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」と思える元気な竹原市の実現に向け、「誰もが住みやすいと実感し、誇らしく思えるまち」を目指します。



【将来都市像の使用フォント】  
“元気”“笑顔”《HGゴシックM》  
“と”“が”織り成す”  
“暮らし誇らし、竹原市。”《MS明朝》

## 竹原市のあゆみ (年表)

昭和33年	昭和35年	昭和36年	昭和38年	昭和41年	昭和43年	昭和45年	昭和46年	昭和47年	昭和49年	昭和51年	昭和53年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和61年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成6年	平成8年	平成10年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成30年	平成31年																																
1958	1960	1961	1963	1966	1968	1970	1971	1972	1974	1976	1978	1980	1981	1982	1986	1988	1989	1990	1991	1992	1994	1996	1998	2000	2001	2002	2003	2004	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2018	2019																																
11月	4月	4月	7月	9月	8月	10月	4月	2月	12月	11月	5月	5月	3月	12月	11月	3月	9月	1月	3月	1月	11月	3月	8月	10月	4月	10月	3月	1月	8月	9月	3月	9月	10月	3月	6月	3月	10月	4月	9月	11月	12月	3月																															
市制施行	初代市長に有原 明三氏就任	堀田整備法により堀田廃止	養護老人ホーム「竹原市黒滝ホーム」設置	中四国フェリー就航(竹原～波方面)	大久野島国民休暇村オープン	市章制定	新市庁舎完成	竹原市市民館完成	市民憲章・市歌制定	竹原市市民館完成	国鉄竹原駅改築	呉線電化	竹原港が貿易港及び植物防疫港に指定	竹原福祉会館完成	竹原・安芸津 13処理施設完成(竹原広域)	2代市長に森川 繁喜氏就任	初代市長 有原 明三氏 名誉市民称号	市木「竹」、市花「梅」を制定	市・下市地区の町並みが「伝統的文化都市環境保存地区」に指定(市庁舎)	地方卸売市場竹原流通センター完成	市・下市地区の町並みが「国重要伝統的建造物群保存地区」に指定(文化庁)	3代市長に小坂 隆氏就任	竹原消防署新庁舎完成	大久野島ガソリンスタンド完成	竹原市保健センター完成	竹原市畜場完成	4代市長に中尾 義孝氏就任	竹原安芸津環境センター完成	たけはら合同ビル完成	たけはら美術館(池田コレクション)開館	総合公園ハンブリージョイ・ハイランド開園	山林火災発生11日・焼失面積378ha 8月20日鎮火	第51回国民体育大会(ひろしま国体)相撲・少年女子ソフトボール競技開催	パーキングエリア「エデンの海」完成	竹原の町並み 都市景観100選受賞	3・24芸予地震発生	竹原市ふくしの駅開館	5代市長に小坂 政司氏就任	たけはら憧れの路(町並みアート)開催	ふれあいステーションたけはら完成	「憧れの広場」(頼山陽広場)完成	竹原浄化センター完成	第1回竹原市総合防災訓練実施	竹原市・広島商船高等専門学校と包括連携協定締結	竹原波方面自動車航送船組合解散	広島中央環境衛生組合設立	竹原市学校給食センター完成	道の駅たけはらオープン	情報通信基盤整備事業完成	たけはらケーブルネットワーク開局	陶芸家 今井 政之氏 文化功労者顕彰	陶芸家 今井 政之氏 名誉市民称号	仁賀ダム完成	国が「竹原市歴史の風致維持向上計画」を認定	JR竹原駅バリアフリー化設備完成	本川排水機場完成	6代市長に吉田 基氏就任	「酔景の小庭」完成	たけはら海の駅オープン	施設一体型小中一貫校 中海学園開校	没後50年池田勇人展開催 キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来訪	子育て世帯向け地域優良賃貸住宅「ヴィラス&C」開設	子育て世帯向け地域優良賃貸住宅「ヴィラス&C」開設	たけはらっこネウボラ 子育て世代包括支援センター開設	まちづくり会社「いいね!竹原」設立	7代市長に今菜 敏歩氏就任	竹原市郷土産業振興館完成	義務教育学校 吉名学園開校	平成30年7月豪雨災害発生	陶芸家 今井 政之氏 文化勲章受章	市制60周年記念式典開催	陶芸家 今井 政之氏 名誉市民顕彰	第6次竹原市総合計画策定

## 総合計画の体系

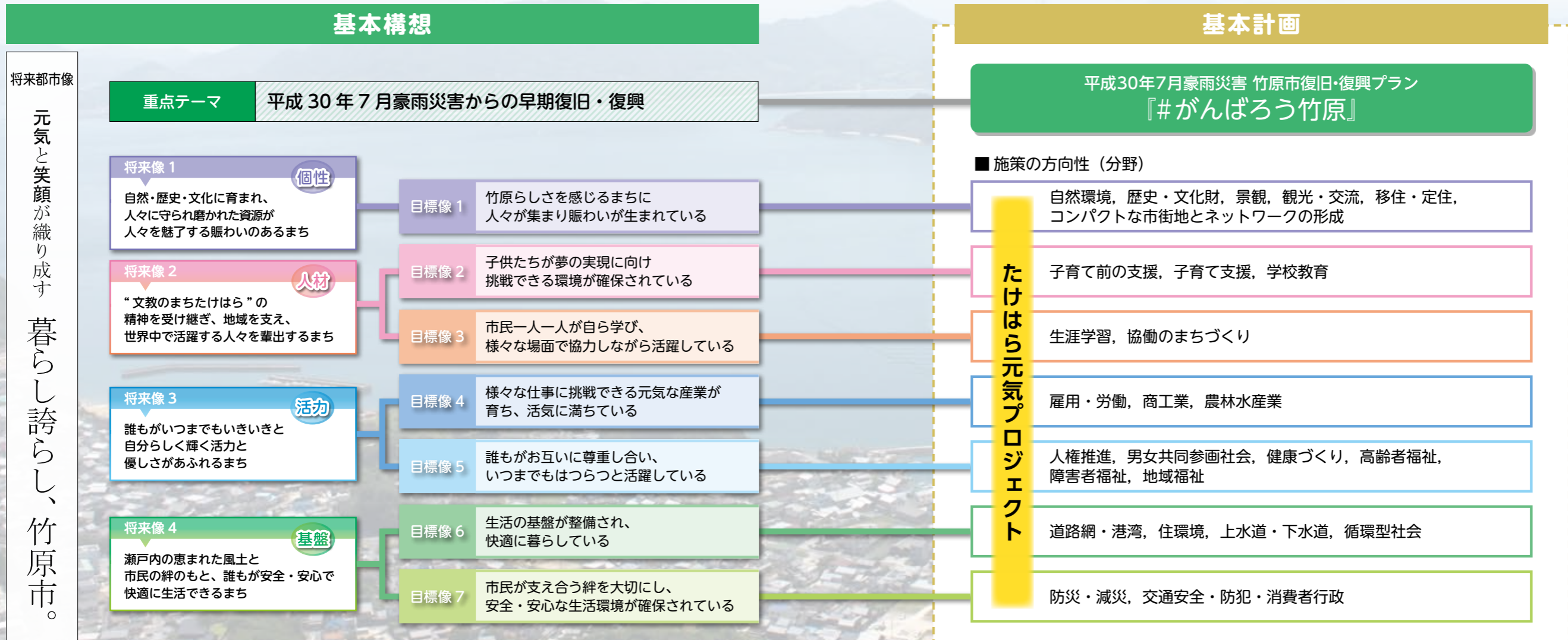
●基本計画では、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、重点テーマに基づく施策や10年後の将来像、目標像に資する分野別の施策の方向性などを体系的に整理しています。

●また、将来都市像の実現に向けた取組を加速するため、分野別の施策の方向性のうち、重点的に取り組むものを「たけはら元気プロジェクト」として位置付けます。

## 《基本計画の構成》

1 平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興に向けた取組  
(平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン「#がんばろう竹原」)

2 将来像の実現に向けた取組  
① たけはら元気プロジェクト  
② 分野別施策



## 災害からの早期復興・復旧 (重点テーマ)

平成30年(2018)7月に発生した豪雨災害では、本市においても観測史上最大の雨量となり、市内各所において、土砂災害や河川の氾濫など、甚大な被害が発生しました。

将来都市像の実現のためには、この災害からの早期復旧・復興が不可欠であることから、第6次竹原市総合計画において、重点テーマとして設定します。基本計画には、

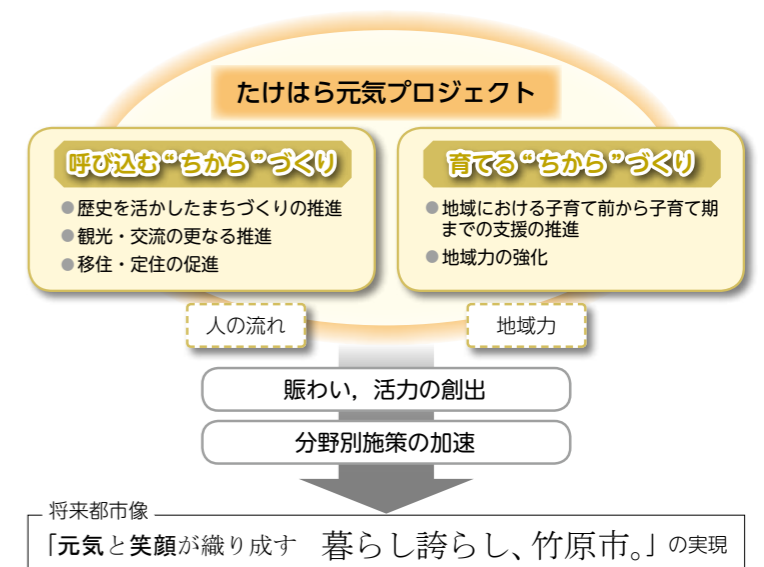
平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン  
『#がんばろう竹原』

を位置付け、災害からの早期復旧・復興に向けた取組を推進していきます。

## たけはら元気プロジェクト

基本構想に掲げる10年後の将来都市像「元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。」の実現への取組を加速するため、前期基本計画の5年間において、重点的に取り組む施策を「たけはら元気プロジェクト」として設定します。




プロジェクトの設定にあたっては、テーマを『元気』とし、テーマに即した施策の実施により、本市の財産である“人”と“地域資源”の融合による魅力を活かした“賑わい”を創出し、『元気』の源となる“ちから”づくりを推進します。



## 将来像の実現に向けて（前期5年間の取組）

基本構想で示した将来像の実現に向けて、前期5年間（平成31年度（2019）～2023年度）の主な取組は以下のとおりです。

<p>将来像 1</p> <p>自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち</p>	<p>目標像 1</p> <p>竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 自然環境</b> ①地球温暖化対策の推進 ②自然環境保全と活用の推進 ③生活環境保全の推進</p> <p><b>2 歴史・文化財</b> ①文化財の保存・継承の推進 ②文化財の活用の推進 ③歴史資産の普及啓発の推進</p> <p><b>3 景観</b> ①誘導・規制による景観保全 ②官民連携による歴史的建造物の活用 ③自然景観の保全</p> <p><b>4 観光・交流</b> ①観光コンテンツと広域観光ルートの開発 ②インバウンド観光の推進 ③観光プロモーションの展開</p> <p><b>5 移住・定住</b> ①移住に係る情報発信と受入環境づくり ②移住・定住を促進するための総合的な施策展開</p> <p><b>6 コンパクトな市街地とネットワークの形成</b> ①良好な居住環境の整備・都市機能の集積と賑わいの創出 ②持続可能な公共交通体系の構築と利用促進</p> 
<p>将来像 2</p> <p>文教のまちたけはらの精神を受け継ぎ、世界中で活躍する人々を輩出するまち</p>	<p>目標像 2</p> <p>子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 子育て前の支援</b> ①出会い・結婚への支援 ②妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援の充実 ③子供をのぞむ世帯への支援 ④安心して出産できる体制づくり</p> <p><b>2 子育て支援</b> ①地域における妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援の充実 ②子供と母親の健康増進 ③子供の健やかな成長を支える学び・体験の場の確保・充実 ④多様化する保育ニーズへの対応 ⑤子育てへの経済的支援 ⑥青少年の健全育成に向けた環境づくりの推進</p> <p><b>3 学校教育</b> ①地域とともにある信頼される学校づくりの推進 ②幼保小連携教育の推進 ③「確かな学力」の向上 ④「豊かな心」の育成 ⑤「健やかな体」の育成 ⑥充実した教育環境づくり</p> 
	<p>目標像 3</p> <p>市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 生涯学習</b> ①生涯学習拠点・機会の充実 ②学校と地域の協働による生涯学習の推進 ③スポーツ・芸術の振興 ④家庭・学校・地域等の連携による教育力向上の推進</p> <p><b>2 協働のまちづくり</b> ①地域間の情報交換・情報共有・学習の場の提供 ②活動拠点を核とした地域活動の促進 ③地域活動への参加促進</p> 

<p>将来像 3</p> <p>誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち</p>	<p>目標像 4</p> <p>様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 雇用・労働</b> ①雇用の確保と人材確保・育成への支援 ②女性をはじめとする多様な人材の活躍の促進</p> <p><b>2 商工業</b> ①創業支援 ②中小企業支援 ③企業誘致の推進</p> <p><b>3 農林水産業</b> ①担い手の育成 ②生産振興 ③6次産業化と流通販売促進</p> 
	<p>目標像 5</p> <p>誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 人権推進</b> ①人権教育・啓発の推進 ②多文化共生社会の推進</p> <p><b>2 男女共同参画社会</b> ①男女共同参画社会づくりの推進 ②女性の活躍の促進 ③男女がともに尊重し合う自立した生活への支援</p> <p><b>3 健康づくり</b> ①市民の健康づくりと生活習慣病の予防の推進 ②救急医療の相談体制の利用促進 ③食育の推進 ④自殺対策の推進</p> <p><b>4 高齢者福祉</b> ①介護予防・生きがいづくりの推進 ②地域で安心して暮らし続けるための介護・生活支援 ③総合的な認知症施策の推進</p> <p><b>5 障害者福祉</b> ①地域でいきいきと暮らすための支援体制等の整備・充実 ②障害児の健やかな育成のための支援体制等の整備 ③ともに支え合う地域社会の構築</p> <p><b>6 地域福祉</b> ①地域における支え合いの推進 ②相談やサービスを提供する仕組みづくり</p> 
<p>将来像 4</p> <p>瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち</p>	<p>目標像 6</p> <p>生活の基盤が整備され、快適に暮らしている</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 道路網・港湾</b> ①国道・県道の整備促進と生活道路の整備 ②道路施設の防災対策と適切な維持管理 ③港湾の計画的な整備と産業・物流・交流拠点としての充実</p> <p><b>2 住環境</b> ①空き家等対策の促進 ②住宅の耐震診断・改修への支援の充実 ③市営住宅の供給促進 ④公園施設の適切な維持管理と利用促進</p> <p><b>3 上水道・下水道</b> ①安全な水の安定供給 ②持続可能な下水処理施設等の運営・管理 ③雨水対策の推進</p> <p><b>4 循環型社会</b> ①ごみの減量化と廃棄物処理体制の充実 ②3Rの推進 ③地域の環境向上の推進</p> 
	<p>目標像 7</p> <p>市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている</p>	<p>施策の方向性</p> <p><b>1 防災・減災</b> ①地域の防災意識の醸成・防災知識の普及 ②情報伝達手段の構築 ③避難体制の整備 ④防災対応力の強化</p> <p><b>2 交通安全・防犯・消費者行政</b> ①交通安全の意識啓発と交通環境の整備 ②防犯活動の推進 ③消費者行政の推進 ④暴力追放活動の推進</p> 

## 名誉市民



初代竹原市長  
有原 明三 氏

昭和33年（1958）初代竹原市長に就任。連続4期市政を担当、卓越した行政手腕により都市計画の推進、公営企業竹原波方間自動車航送船組合、竹原広域行政組合の設立、国民休暇村（現休暇村）の誘致、港湾の整備、教育及び福祉施設の整備など、住民福祉の向上と都市基盤の整備に努力され、本市の発展に貢献された功績は大きい。

（昭和51年（1976）5月1日名誉市民称号）



陶芸家  
今井 政之 氏

平成23年（2011）文化功労者顕彰。平成30年（2018）文化勲章受章。同年広島県名誉県民顕彰。昭和53年（1978）竹原市高崎町に築いた豊山窯を拠点として、数々の陶芸作品を生み出し、面象嵌法の第一人者として、その作品は国内外から高く評価されている。本市に陶芸という新しい文化を根づかせるとともに、市内小学生を対象とした陶芸作品の制作指導の特別授業を行うなど、本市の文化芸術の発展と教育振興に貢献された功績は卓絶。

（平成24年（2012）3月16日名誉市民称号）

## 竹原市の偉人



元内閣総理大臣  
池田 勇人 氏  
（1899-1965）

昭和24年（1949）に政界入りすると、「一十億減税一十億施策」や「所得倍増計画」といった思い切った政策をかけた。昭和35年（1960）に内閣総理大臣に指名されると、積極的な経済政策により日本の高度経済成長の基礎を築いた。外交面では米国をはじめ、西欧諸国、中国、韓国、東南アジアを訪問し、日本を国際舞台に押し上げた。その政治手腕は戦後第一級と言われ評価が高い。



ニッカウヰスキー創業者  
竹鶴 政孝 氏  
（1894-1979）

大阪高等工業学校（現大阪大学）醸造科に進学すると、清酒よりも洋酒に興味を持つ。熱心な研究姿勢と生まれもっての俊才ぶりから、卒業を前に摂津酒造で働き始める。23歳の時、イギリスのグラスゴー大学に留学して洋酒の研究に没頭する。帰国後は摂津酒造を退社し、株式会社壽屋（現サントリーホールディングス株式会社）に入社。国内で唯一の英国ウヰスキー技師であった。壽屋退社後は、独立して大日本果汁株式会社（現ニッカウヰスキー株式会社）を創設し、本格スコッチウヰスキーの国産製造に成功。日本の本格ウヰスキー普及に貢献した。

## 竹原市の位置図

竹原市は、瀬戸内海沿岸部の中央、広島県内でも南部のほぼ中央に位置しています。

市内には、南北を流れる「賀茂川」周辺から沿岸部の平地部に市街地が形成され、朝日山を中心に三方を山に囲まれ、南側に広がる瀬戸内海には多島美の景観が広がり、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた住環境が形成されています。

交通は、幹線道路、JR呉線地方港湾竹原港、忠海港などがあり、周辺には山陽自動車道河内インターチェンジ及び広島空港があり、空・陸・海の交通利便性の高い地域となっています。



重要伝統的建造物群保存地区  
「町並み保存地区」

竹原の地酒

忠海港

湯坂温泉郷



たけはら竹まつり

竹原たけのこのテリヤキ  
牛コロッケバーガー

大久野島のうさぎ

市重要文化財「西方寺普明閣及びお籠堂」

### 市章

昭和 38 年 (1963) 制定



竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴しています。



竹原市  
ホームページ



竹原市公式  
Twitter



### 市民憲章

昭和 43 年 (1968) 制定

- 郷土の自然を愛し、平和な美しいまちをつくりましょう。
- きまりを守り、信じあえる住みよいまちをつくりましょう。
- 働くよるこびをもち、豊かなまちをつくりましょう。
- 老人をうやまい、青少年の夢を健やかに育てましょう。
- 健康なからだ、きれいな心で明るい家庭をきずきましよう。



竹原市公式  
Facebook



竹原市公式  
インスタグラム



### 市の花 梅

昭和 53 年 (1978) 選定



清楚にして優雅な品性を保ち、早春に力強く伸びる新しい枝と共に咲き誇る花は、その香りと共にまさに市民性を象徴するにふさわしいものです。

### 市の木 竹

昭和 53 年 (1978) 選定



まっすぐ伸びて信念を表し、市民みんなが仲良くつながり合って成長し、葉は広く広がり、その緑は平和を象徴するものです。

## 第 6 次竹原市総合計画 概要版 平成 31 年 (2019) 3 月

発行：広島県竹原市

編集：竹原市企画振興部 企画政策課

〒725-8666 広島県竹原市中央五丁目 1 番 35 号

TEL 0846-22-0942 (企画振興部企画政策課)

FAX 0846-22-0998

E-mail kikaku@city.takehara.lg.jp